

平成25年度 市原市図書館サービス計画事業実績評価

評価基準: A 予定以上達成した B 予定通り達成した C 予定に達しなかった D 未実施

基本目標 I いちはらの情報拠点として、市民に役立つ図書館

(1) 資料の充実

① 図書資料の充実

事業 No.	事業内容	25年度実績	
		実施内容	実績(数値)
1	多様化する市民ニーズに応えるため、資料の量と質に配慮した計画的な収集・整備を図ります。	司書を中心に、整理・奉仕係6名で週1回(金)に資料選定会議を開催。	・資料選定会議 週1回 計49回実施 (定期見計らいが平成24年度で終了したことにより資料選定会議は週1回(金)となった。) ・臨時見計らい9回

② 視聴覚資料の充実

事業 No.	事業内容	25年度実績	
		実施内容	実績(数値)
2	教育・教養・娯楽・調査研究等に資する資料の計画的な収集・整備を図ります。	隔月発行の新作視聴覚資料案内により随時選定を行い、計画的な収集・整備を図る。	視聴覚資料購入点数 ・CD 80点 ・DVD 141点
3	現行の資料に替わる新たなメディアへの対応を検討します。	他市町村の状況調査及び市場の調査の実施。	ブルーレイ導入の検討を行ったが、ソフトの出荷状況を調査し時期尚早と判断した。 ※ビデオソフト出荷(2012年) ブルーレイ16,263: DVD68,442(単位千本)

③ 視聴覚ライブラリーの整備と利用促進

事業 No.	事業内容	25年度実績	
		実施内容	実績(数値)
4	制度の周知を徹底し、視聴覚ライブラリー(機材・教材)の利用促進を図ります。	・利用案内、機材、教材目録等を図書館ホームページに掲載し周知。 ・教材目録の配布。	ライブラリー利用団体数: 延べ177団体
5	機材の操作技術の普及を図るため、視聴覚ライブラリー機材の講習会を開催します。	16mm映写機講習会の実施。	平成25年8月22日開催 受講者数: 3名

④ 電子書籍の調査・検討

事業 No.	事業内容	25年度実績	
		実施内容	実績(数値)
6	電子書籍の状況を調査し、新たなメディアやツールへの対応を検討します。	電子書籍の現状を調査し、新たなメディアやツールの対応を検討。	代金支払後であってもサービス提供元の都合で一方的に電子書籍が削除され、利用できなくなる等の問題点があるという状況が判明したため、導入には至らなかった。

(2) レファレンスサービスの利用促進

① レファレンスサービスの利用促進

事業 No.	事業内容	25年度実績	
		実施内容	実績(数値)
7	図書館からの広報や見学等、様々な機会をとらえて、レファレンスサービスの周知を行い、利用の促進を図ります。	・図書館ホームページや館報での周知。 ・施設見学、体験学習等における周知。	・図書館ホームページ掲載 ・館報平成25年7月号掲載 ・施設見学(小学校2校、幼稚園1園)での周知 ・体験学習(小学校3校、中学校8校)、インターシップ(高校3校、高専・大学2校)での周知
8	図書館ホームページから、メールによるレファレンスを受け付け、利用者が便宜を得やすいよう、利用の促進を図ります。	電子メールによるレファレンス実施。	電子メールによるレファレンス件数: 10件

② レファレンスツールの拡充

事業 No.	事業内容	25年度実績	
		実施内容	実績(数値)
9	レファレンス事例集など、レファレンス記録の拡充を図ります。	レファレンス記録を事例集として残すため、電算システムに入力。	電算システム入力件数: 37件
10	新聞・雑誌記事等のデータベースの拡充を図ります。	新規データベース導入を検討し、平成26年度から現行データベースのバージョンアップを決定。	現在導入している朝日新聞記事データベース(聞蔵Ⅱテキスト)から紙面や写真閲覧が可能となるバージョンアップ版(聞蔵Ⅱビジュアル)を平成26年度から導入することを決定。
11	質問の多いテーマや市民の関心が高いテーマ等について、調べ方案内を作成し提供します。	パスファインダー作成・配布。	パスファインダー(第11~14号)作成・配布
12	法律情報提供のため、法律関係書・判例・官報等資料の整備を図ります。	・法律関係書購入 ・官報購入 ・インターネットデータベース(法情報、新聞記事等)の提供	・法律関係書購入数: 128冊 ・インターネットデータベース利用件数: 155件 (朝日新聞記事、官報、日本経済新聞記事、第一法規法情報)

③相互協力の実施

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
13	県内外公共図書館・国立国会図書館との相互協力により、的確な資料提供を図ります。	・県内外借受 ・県内外貸出	・県内借受:2,714冊 ・県外借受:84冊 ・県外貸出:8冊 ・県内貸出:5,069冊	B

④市内部に対するレファレンスサービスの充実

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
14	市民サービス向上のため、市行政担当者に対するレファレンスサービスの充実を図ります。	庁内各課からの問合せに対応し、レファレンスを実施。	庁内レファレンス件数:11件	B

(3)郷土資料の充実

①郷土資料の充実

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
15	地域独自の資料を保存していく観点から、折り込み広告(チラシ)や企業ポスター等の収集・保存を図ります。	地域や企業発行のチラシやポスターの収集・保存。	新聞折込広告、「シティライフ」「地域新聞」「加茂里山通信」「伝心柱」等を収集した。	B
16	市の関係部署と協力し、郷土資料の充実を図ります。	市で発行している郷土に関する資料の収集。	「あ!見つけた!!いちはらの宝50選」「市原市遺跡発掘調査報告書」「YUKIO FUKAZAWA」を含む37冊を収集。	B
17	資料の保存とともにインターネットによる閲覧ができるよう、郷土資料の電子化を検討します。	郷土資料の電子化の検討。	新電算システム導入時に郷土資料の電子化を検討したが、費用面で導入が難しいことが判明したので導入には至らなかった。	B
18	郷土の歴史や地誌に関わる古文書・絵図などの収集に努めます。	郷土の歴史に関する資料(古文書・絵図等)の収集。	古文書・絵図等の収集を図ったが、該当資料の発見に至らなかった。その他歴史資料(5冊「発掘調査報告書」・地誌資料(2冊「ようこそ市原観光ガイド」)等を収集した。	B
19	市が発行する行政資料の網羅的な収集・保存を図ります。	市部局と連携を図り、行政資料の網羅的収集、保存。	「市原市予算」「教育要覧」「財政白書」「市原市統計書」を含む69冊を収集した。	B
20	市内の企業に関する資料(パンフレット・社史等)の収集を図るとともに、市民への紹介を行います。	企業の情報収集及び連携により、企業が発行するパンフレット等を収集し提供を図る。	「風雪の百年」(チッソ株式会社)、「市原市バス路線マップ」「市原市商工会議所30周年」を収集した。	B
21	郷土資料の調査・研究を行う利用者に対し、的確なレファレンスの実施に努めます。	利用者からの問合せに対応し、レファレンスを実施。	郷土資料レファレンス件数:291件	B

②ビジネス支援サービスの充実

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
22	館内のビジネス支援ツールの充実(リーフレット・パスファインダーの作成・特設コーナーの設置等)を図ります。	・パスファインダーの作成・配布。 ・ビジネス支援特設コーナーの設置。	・就職関連パスファインダー(第11・12号)の作成・配布 ・県内企業関連図書等を展示	B
23	市の関係部署や関係機関と連携したビジネス支援の充実を図ります。	・商工会議所主催の講座において、案内チラシ配布。 ・商工会議所主催のビジネス交流会参加。 ・市商工業振興課と連携について協議。	・平成25年8月27日開催、ハローワーク・県・市主催、「保護者のための就職講座」にてパスファインダーの配布及び関連図書の展示 ・平成25年9月7・14日開催、県・市主催、「子育てお母さんの再就職支援セミナー」にてパスファインダーの配布及び関連図書の展示 ・平成25年9月5日、市商工業振興課との協議実施	B
24	地域活性化のためのサポートや地元企業の紹介など企業と連携した事業の実施を図ります。	ジェフ千葉及び小湊鉄道と連携した企画を開催。	・平成25年5月7日、10月25日、ジェフ千葉選手によるスペシャルおはなし会開催、参加者数:130名 ・平成25年10月9日～11月13日、小湊鉄道(株)協力により小湊鉄道(株)関連資料の展示実施	B
25	ビジネス支援に関するコーナーを定期的に設置し、展示等を行って各種の情報提供を図ります。	・ビジネス支援特設コーナーを設置。 ・ビジネス関連図書の購入。	・県内企業関連図書等を展示 ・ビジネス関連図書購入冊数:300冊	B
26	ビジネス支援を希望する利用者に対し、的確なレファレンスの実施に努めます。	利用者からの問合せに対応し、レファレンスを実施。	ビジネス支援レファレンス件数:66件	B

③医療・健康情報サービスの充実

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
27	市の関係部署や関係機関と連携した医療・健康情報サービスの提供を図ります。	保健センターへの資料貸出、図書館展示架の協力展示	保健センター展示架利用 4回(1回につき展示期間1ヵ月)	B
28	図書館資料を活用した医療・健康情報サービスの拡充(闘病記コーナー等)を図ります。	・パスファインダーの発行。 ・障がい者団体や患者会等の発行する会報・機関紙等資料の収集及び利用者への情報提供。 ・医療・関連資料の新規購入開始(月刊誌エキスパートナース) ・特集コーナーの設置(常設)	・パスファインダー2回(第13・14号)発行 ・資料収集团体数:4団体 ・医療・健康関連資料購入冊数:537冊 ・闘病記購入冊数:18冊 ・特集コーナーは毎月内容を変更し展示	B
29	医療・健康情報の提供を希望する利用者に対し、的確なレファレンスの実施に努めます。	利用者からの問合せに対応し、レファレンスを実施。	レファレンスは随時対応 (医療・健康情報関連問合せ件数の統計記録なし)	B

④行政・図書館情報の発信

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
30	市の関係部署と連携し、展示やコーナーの設置(セレクトブックコーナー)等を通して行政情報の発信に努めます。	生涯学習センター、消防局、高齢者支援課、保健センターと連携し、展示架・セレクトブックコーナーで展示を実施。	・生涯学習センター:「家庭教育支援」 ・五井消防署:「救急医療週間」 ・高齢者支援課:「認知症」 ・保健センター:「禁煙」「メタボ」「ガン検診」「健康いちばら21」	B
31	定期的に発行する図書館報「こすもす」の充実を図り、紙媒体や図書館ホームページを通して各種図書・読書情報の発信	図書館情報誌「こすもす」を年4回発行及び図書館ホームページに掲載し、情報の発信を行った。	各1,300部作成 県立・県内公共図書館及び市内小中学校等258か所に配布	B
32	毎年の図書館運営に関する概要をまとめた「図書館年報」を発行し、紙媒体や図書館ホームページを通しての公表	6月に図書館年報を発行し、国及び県内の各図書館に配布するとともに、図書館ホームページにも掲載した。	250部作成 国立・県立・県内公共図書館及び日本図書館協会等108か所、172部を配布	B

(4) 図書館資源の有効活用

①Webサービスの拡充

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
33	図書館のホームページの内容を充実させ、アクセス数の増加を図ります。	図書館電算システム更新にあわせて図書館ホームページのリニューアル及びウェブ上の新サービス提供に向けた作業を実施。	・新システム稼動(平成26年2月)と同時にリニューアルしたホームページを公開するとともに、「マイ本棚」や「新着資料お知らせサービス」等、新しいサービスの提供を開始 ・ホームページ年間アクセス数:337,085件(平成25年度)	A
34	図書館のホームページを活用し、お薦め図書の紹介やイベント情報等の発信に努めます。	図書館ホームページ上にて、図書館の様々な情報を発信。	新刊、新着情報や各種イベント情報等の発信	B
35	パスワード登録の普及促進等により、WEB予約サービスの利用の拡大を図ります。	図書利用カード新規登録時や館内チラシによりパスワード登録の案内を実施。	・新システム稼動後パスワード登録件数:380件(平成26年2月4日～3月31日) ・新システム稼動後WEB予約数(館内OPAC、携帯含む)15,447件(平成26年2月4日～3月31日)	B
36	Webサービスを利用した、新刊図書の情報配信サービスの実施を検討します。	図書館電算システム更新にあわせてウェブ上の新サービス提供に向けた作業を実施。	・新システム稼動(平成26年2月4日)と同時に新しいサービスの「新着資料お知らせサービス」の提供を開始。(平成26年3月31日現在、利用人数63名、メール発信数393通)	B

②図書館資料の活用

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
37	教養の一環や選書、調査・研究の参考として、時代におけるベストセラーなど、読書文化を反映するコレクションを作成し提供します。	・市制施行50周年記念企画展示を実施。 ・亡くなった作家の山崎豊子氏、やなせたかし氏の特集コーナーを設置。	・平成25年7月、「図書館鉄道コレクション」実施 ・平成25年10月～11月、「教科書で振り返る50年」実施 ・平成25年10月、「山崎豊子、やなせたかし特集」実施	B
38	展示や紙媒体を通して、時代に即した問題や課題解決のための情報提供を図ります。	展示架をはじめ、セレクトブックコーナー、中央通路での特別展示、医療健康コーナーでの展示を実施。	・展示架:10回テーマを変えて展示 ・中央通路:5回テーマを変えて展示 ・セレクトブックコーナー:毎月テーマを変えて展示	B

③適切な蔵書管理

事業 No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
39	新たな資料管理方法の検討を行います。	・ICタグに係る経費等の調査検討を実施。 ・監視カメラ導入に向けた検討を実施。	見積を実施し検討したが導入には至らなかった。	B
40	雑誌の保存年限の再検討や細やかな書庫資料の整理を行い、図書館資料の適切な廃棄を図ります。	雑誌の保存年限の検討及び書庫整理に伴う図書資料の適切な廃棄。	資料の整理及び除籍・廃棄 ・図書:11,064冊 ・視聴覚資料:312点(ビデオ) ・雑誌:211タイトル 2,849冊	B
41	書庫資料の状況を把握し、時期を見極めながら計画的な書庫整備を図ります。	廃棄。除籍図書等の冊数確認と共に書庫資料の状況確認により、新規書架配置(購入)の検討。	3階書庫への書架設置を検討したが導入には至らなかった。	B
42	公民館図書室と協力し、全市的な蔵書管理を図ります。	各施設毎の発注状況及び予算管理等により蔵書管理を図る。	購入図書数 図書館 12,099冊 公民館 9,266冊 計 21,365冊	B
43	団体貸し出し用資料について、所蔵資料の整理や提供冊数等のルールを再検討し、その利用促進に努めます。	・配本車運行委託契約更新時に仕様書の団体配本箇所数を増加。 ・児童サービス用品貸出の利用促進のために登録団体あて利用の案内を送付。	・団体配本箇所数:15か所→17か所(仕様書)、8か所→14か所(実績)へ増加。 ・児童サービス用品貸出利用の案内送付:登録団体127か所	B

基本目標Ⅱ 市民がつどい、ともにふれ合い、親しむ図書館

(1) 図書館の利用促進

① 一般向けの各種講座・イベント等の開催

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
44	図書館資料の検索方法や本の修理・カバーフィルム貼り等に関する講習会の定期的な開催を図ります。	図書館iらんどの実施事業として、本の修理、カバーフィルム貼りの実演(デモ)実施。	平成25年10月23日 参加者数:40名	B
45	「読書週間」に、広く一般を対象にしたイベント(図書館アイランド)を開催します。	読書週間に「図書館iらんど」を開催。	平成25年10月19日～平成25年11月13日 ・大人のためのおはなし会 26名 ・本と雑誌のリサイクル 455名 ・他 632名 ・合計参加者数 1,113名	B
46	大人を対象にした「映画鑑賞会」を定期的に開催します。	「大人のための映画会」を定期的に開催。	16作品32回上映、参加者数:1,394名	B
47	図書館で不要になった図書・雑誌の有効活用を図るため、「本と雑誌のリサイクルフェア(古本市)」を開催します。	図書館で不要になった図書・雑誌の有効活用を図るため、「本と雑誌のリサイクルフェア」を開催。	平成25年11月10日 参加者数 455名 配布冊数 図書4,042冊 雑誌1,954冊 合計5,996冊	B
48	大人を対象にした定期的な「おはなし会」の開催を図ります。	「図書館iらんど」において「大人のためのおはなし会」を実施。	平成25年10月30日、「絵本で味わう人生劇場」実施。参加者数:26名	B
49	市原市の歴史や文化財について教養を深める機会を提供するため、「歴史講座」を開催します。	・「図書館iらんど」において歴史講座を開催。 ・同時企画として、図書館iらんど期間中、講師著作本等及び小湊鉄道関連資料を展示。	平成25年10月19日、講演テーマ「小湊鉄道と共に生きる」開催。講師:遠山あき、参加者数:45名	B
50	文学などの教養をより深める機会を提供するため、「文学講座」を開催します。	・市制施行50周年記念文学講座・特別講演会を開催。 ・文学講座講師の著作本の展示。	平成26年3月19日、講演テーマ「異文化としての日本—を考える」開催。講師:椎名誠、参加者数:288名	B

② 子どもや親子向けの各種講座・イベント等の開催

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
51	「子ども読書の日」の趣旨に沿い、子どもを対象にしたイベント(いちはらっ子読書フェスタ)を開催します	「いちはらっ子読書フェスタ」の開催。	開催期間:平成25年4月23日～5月12日 参加総数:1,053名	B
52	人形劇や科学遊び等を通して、本や図書館に親んでもらうことを目的に、親子を対象にした「子どもと読書講座」を開催します。	子どもと読書講座の開催。 春のフェスタ:人形劇 秋の図書館iらんど:科学あそび	・平成25年5月11日、人形劇「いたずらっこのジャン」公演、参加者数:105名 ・平成25年10月20日、科学あそび「紫外線ってなんだろう」「化石・ふしぎな石」、参加者数:64名	B
53	図書館業務にふれ図書館に親んでもらうことを目的に、子どもを対象にした「1日図書館員事業」を実施します。	1日図書館員事業を実施。(小学4～6年生対象)	平成25年7月30日、8月1・2日、計3日間実施。参加者数:47名	B
54	子どもを対象にした「映画鑑賞会」を定期的に開催します。	・「映画会」4～8月、12月、3月に開催。 ・「図書館iらんど」の企画事業として、上映候補6作品に対する利用者投票を実施して上映2作品を決定し、ファミリー向け映画会を開催。	・4～5月いちはらっ子読書フェスタ映画会:3日3作品5回上映 参加者数165名 ・6月映画会:1日1作品2回上映 参加者数52名 ・7～8月夏休み企画映画会:5日5作品9回上映 参加者数361名 ・11月図書館iらんど映画会:2日2作品2回上映 参加者数99名 ・12月クリスマス企画映画会:2日2作品3回上映 参加者数52名 ・3月映画会:2日2作品4回上映 参加者数:75名、参加総数:804名	B
55	子どもを対象にした「おはなし会」を定期的に開催します。	・毎月第1・3水曜日に「おはなし会」を実施。 ・スタンプカードを配布し、スタンプがたまったら子供に手作りプレゼントを贈った。	・「おはなし会」実施回数:24回、参加総数:527名 ・スタンプカード配布数:229枚	A
56	読書の関心を高めるため、小中学生を対象にした「読書感想画コンテスト」の実施・優秀作品の館内展示やポスターへの活用	市内の小中学校へ「読書感想画コンテスト」への参加募集依頼を行い、応募のあった作品の中から入賞作品を決定し、表彰式を行った。また、入賞作品については、館内展示を行うとともに、市長賞の作品については、子ども読書の日PR用ポスターとして作成し、活用した。	応募件数:小学校24校169作品、中学校4校、8作品、合計 28校、177作品 PR用ポスター200部作成、市内小中学校等158か所、177部配布	B
57	読書相談や読書案内、調べ学習等を通して、子どもが主体的に読書や学習に取り組めるよう子ども向けのレファレンスを行います。	・読書相談、読書案内、調べ学習等子ども向けレファレンスの実施。 ・特に本の探しもの相談等は声かけ等により積極的に実施。	児童室レファレンス件数 参考調査・読書案内:4,097件 利用案内・施設案内:877件 合計:4,974件	B

③各種企画展示の実施

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
58	イベント・観光・サッカーJリーグ等、各種の企画展示を実施します。	・小湊鉄道と連携した企画展示を実施。 ・ジェフ千葉と対戦するJリーグチーム本拠地との交換展示を実施。 ・アート×ミックス関連の展示。	・小湊鉄道関連資料展示。 ・キラヴァンツ北九州、柏レイソル各本拠地との交換展示実施。 ・アート×ミックスPR関連展示。	B
59	季節や時期に合わせた特集コーナーの設置を図ります。	季節やタイムリーな話題に合わせた資料をセレクトブックコーナーや児童室等に展示。	・セレクトブックコーナー:「世界遺産」「大掃除」「インフルエンザ対策」等 ・新刊隣り書架:「入園・入学」「年賀状」等 ・今日の返却隣り書架:「課題図書・自由研究」「ソチ五輪・冬のスポーツ」等 ・児童室:「夏」「敬老・おじいちゃんおばあちゃん」「うんどうかい」等	B
60	市の各課が募集し表彰等を行っているポスター等の作品の展示を行います。	・都市計画課景観室主催の「いちほら景観100選」優秀作品の展示。 ・中央図書館主催の「読書感想画コンテスト」優秀作品の展示。	各優秀作品を図書館らんど期間(平成25年10月19日～11月13日)に展示	B

④集会室・視聴覚ホールの活用

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
61	読書や図書に係る市民活動を支援するための集会室・視聴覚ホールの活用	いちほら文庫・おはなし会連絡協議会や読書指導員への活動や研修の場として、集会室や視聴覚ホールを活用した。	集会室:38回(いちほら文庫・おはなし会連絡協議会27回、読書指導員11回) 視聴覚ホール:3回(いちほら文庫・おはなし会連絡協議会)	B

(2)図書館事業に関する市民との協働

①市民ボランティアの育成と連携

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
62	読み聞かせや障がい者支援等のボランティアを育成するためのボランティア講座を開催します。	登録されている読書ボランティアを対象に各種講座を開催。	・音訳者養成講座 平成25年9月～11月、5回開催 参加者数:73名 ・おはなし会講座 平成25年6月5日、7月10日開催 参加者数:37名 ・図書修理講座 平成25年9月14日開催 参加者数:12名	B
63	図書館業務やイベント等への協力を目的とした図書館ボランティアの募集及び協働	募集は年間を通して、随時実施した。また、ブックスタートや図書修理、おはなし会、対面朗読、図書館主催イベントへの参加協力を得た。	登録者数97名 参加者数:ブックスタート事業60回・299人、図書修理12回・43名、おはなし会10回・10名、対面朗読3回・3名、イベントボランティア4回・56名 合計411名	A
64	ブックスタート事業の読み聞かせボランティアを母体に読書ボランティアによる人材バンク制度の立ち上げ	平成24年3月に読書ボランティア人材バンク制度を立ち上げた。また、図書修理や対面朗読、おはなし会の講習を行い、ボランティアの育成にも努めた。	講習会参加者数 図書修理12人、対面朗読 延73人、おはなし会 述べ37人	B

基本目標Ⅲ 地域や学校等との連携をすすめて、豊かな心をはぐくむ図書

(1) 子どもの読書活動の推進に係る連携

① 小中高等学校・学校図書館との連携

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
65	団体貸出の案内や情報提供を行い、利用の拡大を図ります。	・小中学校への団体貸出の実施。 ・リサイクルフェアにおいて、小中学校・高校に資料を無償提供。 ・児童サービス用品貸出の利用促進のために小学校を含む登録団体あて利用の案内を送付。	・団体貸出冊数: 8,242冊 ・リサイクルフェアにおける資料提供冊数 小学校: 7校、135冊、中学校: 2校、36冊 高校: 1校、50冊 ・児童サービス用品貸出件数: 9件(小学校、全体では40件)	B
66	団体配本を実施していない学校を加えるなど、巡回ポイントの拡充を図ります。	・平成24年度に実施した団体配本調査で希望ありと回答した小中学校に対し、再調査を実施。 ・再調査結果を受けて、配本車運行委託契約更新時に仕様書の団体配本箇所数を増加。	・小中学校団体配本希望再調査 調査期間: 平成25年4月19日～5月2日 調査対象: 小学校12校、中学校3校 希望有り: 小学校8校、中学校無し ・団体配本箇所数: 仕様書15か所→17か所 実績8か所→14か所へ増加 このうち小学校団体配本箇所数 実績5校→10校	A
67	「おすすめ本ポスター」「図書館利用案内」等を配布し、読書への興味を高め、読書施設への来館を促します。	・0歳～高校生対象のブックリストを配布。 ・中学生向けブックリストを作成・配布。 ・「利用案内」の配布。	・千葉県公共図書館協会発行「この本読んだ？」ブックリスト配布。 ・「中学生ブックリスト」の作成・展示及び全中学校(22校)への配布。 ・来館者への利用案内の配布(随時)。	B
68	学校からの要望に基づき、児童・生徒を対象とした出張おはなし会やブックトーク等の実施	平成26年5月に要望調査を行い、その後、学校との日程や実施内容等を調整し、出張おはなし会やブックトークを実施した。	参加者数: 出張おはなし会・ブックトーク等6校(31回)・1,014人	B
69	学習教材や選書等の相談に応じ、学校の調べ学習を支援します。	学校からの調べ学習等の相談への対応及び資料等の用意。	学校からの相談件数: 29件	B
70	関係機関・団体等を対象とした「リサイクルフェア」を開催し、図書館で不要になった児童図書等の無料配布を行います。	各種団体(小学校・ボランティア団体等)に、図書館で不要になった児童図書等の無料配布を実施。	平成25年11月7日 参加団体 21団体 配布冊数 392冊	B
71	図書館や本に関心を持ってもらうため、新小学校1年生全員に「としょかんあんない」を配布します。	平成25年4月、市内全小学校の新1年生を対象に「としょかんあんない」を配布。	市内44校(公立43校、私立1校) 3,000部配布	B
72	図書館員の体験を通して、本の楽しさや図書館に親しめるよう体験学習や職場体験、インターシップの受け入れ	平成26年5月に要望調査を行い、その後、学校との日程や実施内容等を調整し、職場体験やインターシップを実施した。	・職場体験 小学生校3校22名、中学生8校22名 ・施設見学 小学生2校44名、 ・インターシップ 高校生2校6名、高等専門生1校1名 ・社会奉仕体験 小学校教諭3校3名、高校教諭3校4人	B
73	図書館職員が学校図書館を訪問し、選書や運営についての支援	学校等からの依頼に応じて、運営支援等を実施した。	学校図書館図書展覧会への講師派遣2名、図書主任会議への講師派遣3名	B
74	教職員・読書指導員・図書館職員等で構成する「子ども読書活動推進支援連絡会議」を開催し、読書活動推進の方策を協議します。	「子ども読書活動推進支援連絡会議」を2回開催	第10回 平成25年5月28日開催 議題: 調べ学習の手引きについて等 第11回 平成25年12月17日開催 議題: 新図書館システムについて等	B

② 幼稚園・保育所(園)との連携

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
75	幼稚園・保育所(園)を通じて、中央図書館が主催する親子対象事業等の情報を提供します。	幼稚園、保育園(所)に、いちほらっ子読書フェスタ、子ども読書活動推進フォーラムのポスター等を配布。	ポスター等配布箇所数 保育所: 22、私立保育園: 5 市立幼稚園: 6、私立幼稚園: 24	B
再掲(65)	団体貸出の案内や情報提供を行い、利用の拡大を図ります。	・幼稚園、保育所への団体貸出の実施。 ・団体図書に関する問合せに対応(随時)。	・団体貸出冊数: 2,101冊	B
76	紙芝居・エプロンシアター等、子どもの読書活動に使用する機材や用品の貸出を行います。	・児童サービス用品貸出の実施。 ・児童サービス用品貸出の利用促進のために幼稚園・保育所(園)を含む登録団体あて利用の案内を送付。	・貸出件数: 2件(保育所、全体では貸出40件) ・登録団体あて利用案内送付件数: 127団体 ・用品リスト配布(随時)	B
77	図書館を活用した読書活動に対する支援	幼稚園等からの要望を受け、図書館を活用した読書支援を行った。	施設見学2回60名 保育園の年長クラスの集団来館による図書の貸出24回720名(週2回/毎月)	B
再掲(70)	関係機関・団体等を対象とした「リサイクルフェア」を開催し、図書館で不要になった児童図書等の無料配布を行います。	・リサイクルフェアにおいて、幼稚園、保育所(園)に資料を無償提供。	・リサイクルフェアにおける資料提供冊数 幼稚園・保育所: 7か所、121冊	B

③大学との連携

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
78	司書資格の取得や職業意識の向上に資するための大学生の司書課程実習やインターシップの受け入れ	大学からの要請を受け、司書課程実習やインターシップの受け入れを行った。	インターシップ1校2人、図書館学実習受入1名、施設見学1校1人	B

④市内公共施設との連携

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
79	生涯学習出前講座「おでかけくん」を活用し、公民館等が主催する読書関連事業への講師派遣	学童保育団体等から生涯学習出前講座「おでかけくん」の要請を受け、講師を派遣した。	派遣回数及び人数:4回、10名 参加者数:4団体、159名	B

⑤市民との連携

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
80	子どもの読書活動推進のため、市民・学校・図書館等で構成する実行委員会により、「子ども読書活動推進フォーラム」を開催します。	・フォーラム実行委員の市民公募。 ・フォーラム実行委員会の開催。(企画の検討、周知活動、開催準備等) ・フォーラム開催。	・市民公募により選出した委員:3名 ・フォーラム実行委員会開催:8回 ・フォーラム 平成25年11月13日開催、参加者数:112名 第1部 読み聞かせ団体による活動発表及び寸劇 第2部 講演会「聞いてたのしいから読んでたのしいへ」、講師:川端有子(大学教授)	B

⑥地域の文庫会等との連携

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
再掲(65)	団体貸出の案内や情報提供を行い、利用の拡大を図ります。	・文庫会等への団体貸出の実施。 ・県立東部図書館が実施する「十冊文庫」等による読書会への図書提供。 ・団体図書に関する問合せに対応(随時)。	・団体貸出冊数:5,485冊 ・「十冊文庫」利用読書会:2団体	B
再掲(79)	生涯学習出前講座「おでかけくん」を活用し、地域で活動する団体に、出張おはなし会・ブックトーク等を実施します。	地域の文庫会等が実施する講座等への参加。	いちほら文庫・おはなし会連絡協議会 スキルアップ講座 I 平成25年5月16日、 II 平成25年9月4日、III 平成26年1月9日	B
再掲(70)	関係機関・団体等を対象とした「リサイクルフェア」を開催し、図書館で不要になった児童図書等の無料配布を行います。	各種団体(小学校・ボランティア団体等)に、図書館で不要になった児童図書等の無料配布を実施。	平成25年11月7日 参加団体 21団体 配布冊数 392冊	B
81	読書ボランティアへの支援として、研修会や講習会を開催します。	「子ども読書活動推進フォーラム」を研修を兼ねた内容にて実施。	フォーラム第1部 読み聞かせ団体による活動発表及び寸劇	B

(2)企業等との連携

①企業・団体等との連携・協力

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
82	子ども向け科学あそびやデータベース使い方講座など、企業・団体が実施するイベントや講座等との連携を図ります。	・企業等との連携について、市商工業振興課と協議。 ・ジェフ千葉及び小湊鉄道と連携した企画を開催。	・平成25年5月7日、10月25日、ジェフ千葉選手によるスペシャルおはなし会開催。参加者数:130名 ・平成25年10月9日～11月13日、小湊鉄道(株)協力により小湊鉄道(株)関連資料の展示	B

基本目標Ⅳ すべての市民にやさしい図書館

(1) 特定の利用者へのサービス

① 障がい者サービスの充実

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
83	関係部署等と協力し、録音図書の利用者拡大を図ります。	・録音図書の貸出。 ・障がい者サービスの周知。	・録音図書の貸出巻数(タイトル数):1,223巻(453タイトル)、貸出延べ人数:126名(うち郵送:93名) ・広報、館内掲示、図書館ホームページ等により周知	B
84	新たなメディアであるDAISY図書の導入を図ります。	サピエ図書館サービスによる、DAISY図書の提供実施。	・デージー図書ダウンロードによるCD作成・貸出:142点 ・オンラインリクエストによる録音図書貸出:10点	A
85	音声読書器・拡大読書器等の福祉機器の利用促進を図ります。	・デージー図書録音再生機の貸出。 ・障がい者サービスの周知。	・デージー図書録音再生機貸出回数:4回 ・広報、館内掲示、図書館ホームページ等により周知	B
86	障がいを持つ子どもの読書活動を支援するため、さわる絵本・布の絵本等の整備を図ります。	障がいを持つ子どものために、さわる絵本や布の絵本の整備を図る。	備品を活用・製作するために、「わくわくシアターあそび」「たのしい行事シアター」「楽しい絵本のつくりかた」を収集した。 ※参考(所蔵備品) ・エプロンシアター 35点 ・パペット(手を入れて動かす)3セット 32点 ・布の絵本 19点	B
87	障がい者支援に関するコーナーを定期的に設置し、展示等を行って各種の情報提供に努めます。	音声読書器、拡大読書器等を配置した障がい者サービス室を常設。	障がい者サービス室設置のパソコンにより、利用者のサピエ図書館個人登録等のサポートを実施	B

② 多文化サービスの充実

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
88	多様な分野の外国語資料の収集を図ります。	多様な分野の外国語資料の収集を図る。	外国語資料 ・図書 18冊(所蔵冊数 2,797冊) ・外国語新聞 3紙 ・雑誌 5誌	B
89	外国人の子どもの読書活動を支援するため、外国語絵本等の整備を図ります。	外国人の子どもの支援するため、新刊案内及びパンフレット等により、外国語絵本等の整備を図る。	外国語図書 ・購入冊数18冊のうち絵本 8冊 ・所蔵冊数のうち絵本 1,118冊	B
90	英語による絵本の読み聞かせや多文化を知る絵本のおはなし会等の実施を図ります。	・世界を知ることテーマにしたブックトーク及びおはなし会の実施。 ・特別企画として、ブータンに関する講演・演奏及び映画会を実施。	・「世界の小話」をテーマに、ブックトーク実施(1回) ・多文化をテーマにおはなし会実施(2回) ・平成25年8月21日、夏休み企画「ブータン王国に学ぶ身近な”ハピネス”の見つけ方」開催。講演と演奏、映画「リトルブッダ」上映 参加者数:46名	B
91	外国人への館内サービスの向上を図ります。	外国語の図書館利用案内の配布。	外国語(英語、ハングル語、中国語、スペイン語、ポルトガル語)の図書館利用案内の配布	B
再掲(87)	専用のコーナーを定期的に設置し、展示等を行って各種の情報提供に努めます。	・外国語資料、新聞、雑誌の購入。 ・一般書架及び児童室に洋書コーナー常設。	・外国語資料購入冊数:18冊 ・外国語新聞3紙、雑誌5誌を購入	B

③ 子育て世代へのサービスの充実

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
92	家庭の読書環境づくりを支援するために1歳6か月児検診時に絵本の読み聞かせを指導し、無償で絵本を手渡すブックスタート事業の実施	市内5会場で毎月実施される1歳6か月児検診時に絵本の読み聞かせを指導し、無償で絵本を手渡すブックスタート事業を実施した。	60回実施、2,078人参加	B
93	乳児用スペースや授乳場所など、子育て世代が利用しやすい館内環境の整備	授乳用スペースがないことから、利用者の申し出があった場合には、対面朗読室を使用した。	授乳用に目隠し用の衝立を設置した。	B
再掲(87)	専用のコーナーを定期的に設置し、展示等を行って各種の情報提供に努めます。	・セレクトブックコーナー等にて子育て関連資料の展示を実施。 ・児童室入口に子育て情報コーナーの設置。 ・子育て関連図書の購入。	・いじめ・虐待等の関連図書や入園入学準備関連図書の展示 ・子育て情報コーナーにて子育て関連情報の各種パンフ等の設置及び配布 ・子育て関連図書購入冊数:637冊	B

④高齢者サービスの充実

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
94	大活字資料の収集と展示等による利用促進を図ります。	新刊案内及びパンフレット等により、大活字図書の整備を図る。	大活字図書 ・購入冊数 63冊 ・所蔵冊数 2,753冊	B
95	ボランティア活動の情報など、地域活動の促進につながる資料の提供を図ります。	ボランティア関連情報紙の配置及び配布。	・市民活動センター発行の「iほっと通信」配置、配布 ・シルバー人材センターのチラシ配布 ・アートミックスボランティア「菜の花サポーター」募集チラシの配布	B
再掲(87)	専用のコーナーを定期的に設置し、展示等を行って各種の情報提供に努めます。	・大活字図書コーナーの設置。 ・高齢者関連図書の購入。	・大活字図書購入冊数:63冊 ・高齢者関連図書購入冊数:110冊	B
96	拡大読書器等の福祉機器の利用促進を図ります。	・障がい者サービス実施要綱に基づく各種サービスの周知。(同要綱では「図書館利用に障がいのある者」を「障がい者」と想定しているため、要件に該当する高齢者も含まれる。) ・拡大読書器の設置。	・広報、館内掲示、図書館ホームページ等により周知 ・拡大読書器を1階フロアに常設	B
97	施設への出張おはなし会や映画会など、高齢者を対象にしたサービスの提供を図ります。	老人福祉施設への視聴覚機器や教材の貸出。	老人福祉施設への貸出件数:機器6件、教材3件	B

⑤来館困難者へのサービス検討

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
98	交通事情や健康上の理由等で、読書施設への来館が困難な市民のため、本の宅配サービスの検討を行います。	本の宅配サービスについて、県内他市状況調査を実施。	・調査2回実施(平成25年10月、平成26年2月) ・障がい者等来館困難者向け宅配サービス実施市:21市 ・一般向け県内宅配サービス実施市:6市(平成26年2月調査時点)	B
99	読書施設への来館が困難な市民のため、資料のコンビニ受け取りサービス・返却サービスの検討を行います。	コンビニ受取返却サービスについて、県内他市状況調査を実施。	・調査2回実施(平成25年10月、平成26年2月) ・コンビニ受取返却サービス実施市は無い。(平成26年2月調査時点)	B

(2)様々な利用者へのサービス

①館内環境の整備

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
100	見やすく調べやすい図書の配置など、館内レイアウトの見直しを図ります。	・特別整理期間の休館中に、書架整理等を実施。 ・児童室に大型紙芝居架及び子育て情報コーナーを設置。	・特別整理期間(平成26年1月20日～2月3日)中に、すべての書架(棚)の整理整頓等を実施 ・児童室に大型紙芝居架2台を購入し設置。(計3台) ・児童室入口に子育て情報コーナーを設置	B
101	利用者に配慮した閲覧環境・衛生環境の向上	閲覧環境の向上として、緑のカーテンの設置及びレンタル団扇の貸し出し、衛生環境の向上として、図書館入口にアルコール消毒液を設置した。	緑のカーテン設置:平成25年5月下旬～9月中旬 アルコール消毒液:通年 レンタル団扇:夏季	B
102	情報をわかりやすく提供できるよう掲示物・配布物の適切な管理	「中央図書館内におけるポスター等の掲示について」に基づき、掲示物や配布物の適切な管理を実施した。	ポスターの貼替・配布物の追加等:週1回実施、ポスター・配布物等の設置管理:毎日	B
103	適切な温度・照明や椅子の配置など、居心地のよい空間づくり	緑のカーテンの設置、ソファの修繕を行い、居心地の良い空間づくりに努めた。	緑のカーテン設置:平成25年5月下旬～9月中旬 閲覧用ソファの修理	B
104	資料や施設が利用しやすくなるよう館内利用案内の充実を図ります。	特別整理期間の休館中に、館内書架の名称や案内等の見直しを実施。	・図書の配架場所をわかりやすくするため、一般図書フロアを第1フロアと第2フロアに分けた。 ・「青少年図書コーナー」から「ティーンズコーナー」に改名。 ・セルフ貸出機を1台増設し、計2台とした。	B

②情報システムの充実

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
105	より使いやすい電算システムの導入を図ります。	電算システム更新に向けた作業の実施。(平成26年2月4日、新システム稼働)	・プロポーザルによる業者選定作業 ・学校図書館関係部署、情報管理課を含めた全体会議及び業務検討会議の開催 ・新システムへのデータ移行作業 ・新システム操作研修の実施	B

③業務水準の向上

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
106	職員の資質や業務水準の向上を図るための外部の実務・専門研修等への積極的な参加	千葉県公共図書館協会等が実施する専門研修への積極的な職員参加を行い、職員の資質向上に努めた。	千葉県公共図書館協会 9回、11名参加 千葉県立中央図書館 9回、13名参加 文部科学省 12日、1名参加 文化庁 3日、1名参加 千葉県教育委員会 他 6回、7名参加	B
107	職員の資質や業務水準の向上を図るための外部講師による職員全員研修の実施	外部講師による研修を実施した	「市民参加と協働の図書館づくり」 講師 長野県図書館協会常務理事・事務局長 宮下 明彦氏 27名参加(平成26年2月28日) 「認知症サポーター養成講座」 講師 高齢者支援課職員 32名参加(平成26年1月31日)	B
108	カウンターマニュアル等、内規の定期的な見直しを行い、全読書施設での統一的な対応やサービス水準の向上を図ります。	・新システムに対応した運用等の見直し。 ・館内研修の実施。	・毎月、奉仕係内会議での事例研究、検討の実施 ・館内職員研修の実施(平成26年1月31日、平成26年2月28日の2回実施) ・市内読書施設の担当者会議による情報交換等の実施	B
109	読書指導員、読書ボランティア、公民館等図書担当のスキルアップを図るための中央図書館職員による研修や講師派遣	公民館等図書担当職員を対象とした担当者会議及び電算システム研修会を開催し、スキルアップを図った。	担当者会議:5回実施 新図書館電算システム研修実施(平成25年12月17~20・24・27日)	B

④館内管理体制の整備

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
110	カウンターワークにおけるプライバシー保護の徹底を図ります。	プライバシーに配慮したカウンター業務の実施。	カウンターパソコン画面の速やかな消去、個人情報記載文書の裁断等、プライバシーへの配慮を実施	B
111	不測の事態に備えた館内防犯やセキュリティの強化	館内の巡視を3~5回/日実施した。	館内巡視の実施3~5回/日	B
112	地震・火事など災害時における館内危機管理体制の整備	防災訓練を行い、災害時における避難方法や経路の再確認を実施した。	平成26年1月21日に初期消火訓練・心肺蘇生法・AED操作講習を実施 講師 五井消防署職員 参加者数:正職員23人、嘱託職員13人	B

⑤視聴覚サービスの拡充

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
113	視聴覚資料の貸出の利便性向上に向け、中央図書館以外の読書施設における貸出・返却・予約サービスの検討を行います。	中央図書館以外の市内読書施設での視聴覚資料の貸出返却サービス実施に向けての検討。	・サービス実施方針決定(平成25年10月22日付け、部長決裁) ・サービス実施に向けて規則改正(案)の作成	B

⑥開館時間拡大の検討

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
114	市民ニーズ等を勘案した開館時間の拡大に関する検討	夜間開館における利用状況について調査し、開館時間拡大の検討を行ったが、夜間開館の1時間当たりの平均貸出者数が全開館時間の1時間当たりの平均貸出者数【最小値】を上回ることができなかったことから、今回は見送った。	※①が③を上回ったとき、開館時間の拡大を進める。 ①夜間開館の1時間当たりの平均貸出者数 44人 ②全開館時間の1時間当たりの平均貸出者数 87人 ③全開館時間の1時間当たりの平均貸出者数【最小値】70人(9:30~10:00)	B

⑦市民ニーズの継続的把握

事業No.	事業内容	25年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価
115	図書館へのひと言による図書館への要望等の把握及び図書館運営の改善	中央カウンター入口付近に「図書館へのひと言」の記載台及び投函箱を設置し、要望等の把握をするとともに、直ぐに対応できるものについては改善を行った。	投書数:35件、回答数13件・参考意見22件 うち改善・改善予定件数:4件、お礼3件	B
116	市民ニーズやサービスについての満足度を継続的に把握するためのアンケートの実施	来館者を対象とした利用者アンケートを行った。	利用者アンケート 7日間(平成26年3月) アンケート配布数 551件 有効回答数 531件 回収率 96.4%	B

実績評価において、予定以上達成したと評価した理由

- ・事業No.33 今回のシステム更新で読書推進サービスである「マイ本棚」や「新着資料お知らせサービス」を新しく導入したことを評価したもの。特に「マイ本棚」はウェブ上で利用者が自分の読書履歴を管理したり、これから読みたい本を登録しておくことができるものである。
- ・事業No.55 スタンプカードを導入した効果等により、参加者が前年度より約3倍に増えたことを評価したもの。
- ・事業No.63 参加者数の増加(H24 327名→H25 411名)を評価したもの。
- ・事業No.66 今回の調査により、新たに団体配本を希望した小学校8校すべてを団体配本先に加える等、配本箇所数を増加したことを評価したもの。
- ・事業No.84 DAISY図書の貸出点数が前年度と比較し約5倍に増えたことや、オンラインリクエストという新たな方法も利用して利用者に図書を提供したことを評価したもの。

※市原市立中央図書館協議会への報告

平成25年度市原市図書館サービス計画事業実績評価について、平成27年1月29日(木)に市原市立中央図書館協議会へ報告しました。